



2021年10月28日

各位

会社名 イチカワ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 牛尾 雅 孝
 (コード番号 3513 東証第1部)
 問合せ先 総務部長 山崎 敦
 (TEL. 03-3816-1111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2021年5月14日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 連結業績予想数値の修正

2022年3月期第2四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	5,800	140	190	100	21円85銭
今回修正予想(B)	5,850	210	340	270	58円99銭
増減額(B-A)	50	70	150	170	—
増減率(%)	0.9	50.0	78.9	170.0	—
(ご参考)前年同期実績 (2021年3月期第2四半期)	5,834	21	127	141	30円87銭

2022年3月期通期(2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	11,900	480	560	270	59円01銭
今回修正予想(B)	11,900	480	750	490	107円06銭
増減額(B-A)	0	0	190	220	—
増減率(%)	0	0	33.9	81.5	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	11,598	323	489	369	80円80銭

2. 修正の理由

当社グループの主要取引先であります紙パルプ業界の動向は、新型コロナウイルス禍によるテレワーク、紙媒体の電子化の進展により、洋紙需要は引き続き減少傾向にあります。また、海外の市況も同様の傾向にあります。当第2四半期の業績につきましては、海運の混乱が売上高に影響を与えましたが、為替レートが当初の見込みを上回ったこと及び需要の減少に合わせて生産体制の適正化を図る等コストを削減したことにより、営業利益は前回公表の数値を上回る見込みであります。また、雇用調整助成金の収入もあり経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益も同様に上回る見込みであります。

以上によりまして、第2四半期連結累計期間の業績予想を修正するものであります。

通期業績予想数値につきましては、フェルト需要の急速な回復は難しいものの為替レートが当初の見込みを上回っていること、及び当第2四半期の業績予想の修正に伴い、連結業績予想数値を修正するものであります。

※ 上記予想は、本資料の発表日現在における将来の経営環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値とは異なる場合があります。

以 上